

## ～ 研究に関するお知らせ ～

横浜医療センター泌尿器科では、下記の研究を行います。

研究の名称：当院における上部尿路閉塞に対する緊急ドレナージ施行例の臨床的検討

この研究は条件を満たす患者さん全員を対象といたします。

情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、最終ページに記載の連絡先（問い合わせ先）までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### ■ 研究の対象となる患者さん

2022年4月1日から2023年3月31日までに当院泌尿器科で緊急または準緊急で尿管ステント留置術または腎瘻造設術を受けた患者さん

### ■ 利用する試料・情報の種類

上記の対象期間中に診療録に記録された診療情報を、研究に使用させていただきます。使用に際しては、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則り、個人情報 は厳重に保護した状態で行います。

### ■ 研究の概要

#### • 研究の目的及び意義

様々な理由により速やかな尿路のドレナージ（感染の原因の除去目的に尿を体外に排泄すること）が必要となることがあります。当院泌尿器科においても年間数十件、緊急または準緊急で尿管ステント（尿管に入れるチューブ）留置または腎瘻（背中から腎臓に穴をあけてチューブを留置するもの）造設を施行しております。当院における尿路ドレナージ処置の傾向を明らかにすることで、今後よりハイリスクな患者さんへの速やかな対応につなげることが可能となると考えます。

#### • 研究の期間

倫理審査承認日～2025年3月31日

#### • 研究の方法

観察研究(後ろ向きコホート研究)

研究対象者について、下記の臨床情報を診療録より取得します。

年齢、性別、受診経路、処置までの時間、原因となった疾患、転帰

- 外部への情報等の提供、個人情報等の取り扱い

この研究で得られた情報は、あなたを特定できる情報（氏名、住所、電話番号等）は記載せず、本研究固有の症例番号（症例毎に採番）にて管理します。症例番号とカルテ患者 ID 等の対応表データを別途作成します。作成する対応表データはパスワード保護の上、研究責任者が厳重に管理します。

この研究の成績をまとめて学会発表や学術論文として公表されることもありますが、いずれの場合もあなたの名前等の個人的な情報は一切公表されません。また、この研究で得られたデータが、この研究の目的以外に使用されることはありません。

- 研究の資金源  
所属科研究費

- 利益相反に関する状況

本研究における、開示すべき利益相反は特にありません。

※ 臨床研究における利益相反とは

「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

## ■ 研究代表者および研究分担者

|                |      |    |    |     |
|----------------|------|----|----|-----|
| 研究代表者：横浜医療センター | 泌尿器科 | 医師 | 伊藤 | 由希  |
| 研究分担者：横浜医療センター | 泌尿器科 | 部長 | 平井 | 耕太郎 |
|                |      | 医長 | 横溝 | 由美子 |
|                |      | 医師 | 藤岡 | あずみ |
|                |      | 医師 | 高梨 | 将人  |

## ■ ご質問等

本研究に関するご質問等がありましたら下記のお問い合わせ先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

<お問い合わせ先>

独立行政法人国立病院機構横浜医療センター

泌尿器科 医師 伊藤 由希

〒245-8575 横浜市戸塚区原宿 3-60-2

TEL045(851)2621（代表）※平日 9：00～17：00